資料３

手話言語の周知・普及に関する取り組み

１　小中学校における手話体験の推進

【手話体験学習のねらい】

⑴　子どもたちが手話の基本的な仕組みや役割を理解する。
⑵　聴覚障害者の視点に触れ、思いやりや共感の心を育む。
⑶　手話言語を通じて、「多様性を尊重すること」の大切さを実感する。

【2025年度実績】

新たに手話体験学習に取り組んだ学校数
・ 小学校：２校
・ 中学校：１校
※従前から手話体験を含む福祉学習を実施している学校を除く。



【手話体験学習後の感想】

⑴　講座中、聴こえない講師に分かるようにうなずいたり、反応したりする子どもたちの姿から、相手のことを思いやりながら学んでいることが感じられた。
⑵　ろう者が生活する上で災害時における困りごとを具体的に知ることができた。講師の手話に触れることで、生徒たちの学習意欲も高まった。
⑶　手話に興味を持つことができ、「困っている人がいたら助けたい」という気持ちを持つ児童が多く見られた。

２　図書館における手話の本コーナーの設置と手話による読み聞かせの実施

図書館に手話に関する本のコーナーを設置するとともに、手話による絵本の読み聞かせや、簡単な手話を学ぶ機会を設けました。

【設置期間】
2025年９月１日
～９月30日

【読み聞かせ参加者数】
・ 子ども：９名
・ 大人：12名
合計：21名





3　市広報等での周知・普及

市広報等を活用して手話言語に関する情報を発信し、市民が手話言語について知る機会を設けています。



4　デフリンピックキャラバンへの参加

東京2025デフリンピックの認知度向上や機運醸成、手話言語やろう者の文化の発信･理解促進を目的とした活動に参加しました。

豊岡演劇祭のナイトマーケットに合わせてボランティアを募り、手話スタンプラリーを実施しました。

【実施日】

2025年９月19日（金）

【参加者】

・ ボランティア　：19名
・ スタンプラリー：62名







※プライバシー保護のため、写真は加工しています。

5　医療機関との連携（赤ちゃんリーフレットの配布）

豊岡聴覚特別支援学校、たじま聴覚障害者センター、豊岡市の保健師から意見を聴きながら、リーフレットの内容を検討しました。

作成したリーフレットは、豊岡病院但馬こうのとり周産期医療センターに設置するとともに、４か月児健康診査の資料として配布しています。



